

5 行財政の適切な経営

多様で高度化する課題の解決に向け、問題解決力や企画力等を有した職員の育成を含めた、効果的・効率的な行財政経営が求められています。

(1) 行政改革の推進

分野別の縦割りの対応を超えて、庁内横断的な取り組みによる戦略プロジェクトの推進を図ります。

公民連携や民間活力の活用、ICTの利活用などによる業務の効率化や、社会経済情勢の変化に柔軟に対応し、より効果的かつ自由な発想を生み出す職場環境・組織文化を形成します。

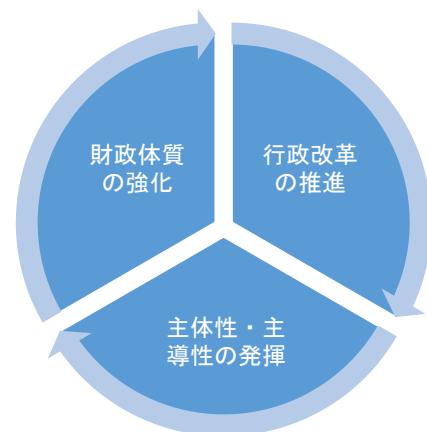
(2) 主体性・主導性の発揮

市の新たな道を切り開く機構改革や職員の育成により、戦略プロジェクトの実現を図ります。

モチベーションの向上につながる適正な評価、職員配置、採用、職員研修などを通じて、各職員、各所属が主体性や主導性を発揮するとともに、適切なリスクマネジメントができる組織づくりを進めます。

(3) 財政体質の強化

職員一人一人のコスト意識とエビデンスに基づく政策立案の思考を高めるとともに、政策的優先度をとらえた効果的な投資が行える、持続性のある財政体質の強化を図ります。



6 DXの推進

「だれもが便利で簡単に、生き生きとした暮らし」に向け、デジタル技術を活用して、市民サービスの利便性の向上と地域の課題解決を進めていきます。

(1) だれもが便利で簡単なデジタル化

全てのひとが、デジタルサービスにアクセスでき、デジタル化の恩恵を受けられる「誰にも優しいデジタル化」に取り組みます。

(2) 市民・事業者のデジタル理解促進

市民や事業者の方々の理解を深めながら、「綾瀬市DX推進計画」を指針として、「皆で支え合うデジタル共生社会」づくりを、全市一体となって進めます。

(3) 課題解決型に思考を変革

DXに必要とされる、自ら変革を進める姿勢を持つよう意識改革を進め、課題解決と地域の特性を生かした地方創生に向けて、さらなる改善につなげます。

